

## 第1回 教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和6年1月18日(木) 午前9時57分
- 2 開催場所 大町市役所 東大会議室
- 3 出席委員 教 育 長 中 村 一 郎  
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆  
委 員 下 川 清 志  
委 員 森 し の ぶ  
委 員 北 澤 明 美
- 4 説明のため出席した者  
教 育 次 長 太 田 三 博  
学 校 教 育 課 長 平 林 政 規  
生 涯 学 習 課 長 藤 卷 孝 之  
ス ポ ー ツ 課 長 松 下 明 夫  
山 岳 博 物 館 館 長 鈴 木 啓 助  
国 民 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 室 長 牛 越 秀 仁  
学 校 教 育 指 導 主 事 吉 澤 清  
学 校 教 育 指 導 主 事 山 岸 澄 雄  
学 校 教 育 課 学 校 再 編 係 長 渡 邊 哲 也
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 平 林 晃
- 6 傍聴者 一 名

**中村教育長**：皆さんおはようございます。開会時間より若干早いですが、皆さんお揃いですので、これより第1回教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、教育長報告を行います。

**中村教育長**：教育長報告 資料により説明

**中村教育長**：以上、教育長報告であります。皆さんの方から何か質問等ございますか。

**中村教育長**：では続きまして報告事項の方に移りたいと思います。

学校における事件・事故等について、お願いします。

内容非公開

**中村教育長**：それでは、次の行政報告ということで、山岳博物館の空調設備について、説明をお願いします。

**鈴木山岳博物館長**：山岳博物館の空調設備について、資料により説明

**中村教育長**：この件について何かございますか。

それでは続きまして協議事項の方に移りたいと思います。

最初に学校の再編についてということで、事務局説明をお願いします。

**渡邊学校再編係長**：学校の再編について、資料により説明

**下川教育委員**：教育委員や再編準備委員会の委員の皆さんへの周知はどのような形で行ったのか。

また、以前は再編ニュースを保護者の方や市民の方へ自治会を通じた回覧などで、まわしていただいたと思うが、今回の対応はどうか。

**平林学校教育課長**：今回は、学校とプラス保育園ということで、市民の皆さんへの周知はしておりません。

**下川教育委員**：それはどうなのでしょう。市民への周知をしていない点について、他の皆さんの意見を聞きたい。

**中山教育長職務代理者：**この再編ニュースを見たとき、ほとんど周知されていることではないかと思いました。

**下川教育委員：**裏の平面図に関しては、新しい情報かと思いますが。

**中山教育長職務代理者：**プールの話もあるので、今、この平面図をのせるのはどうかという思いもありました。

**下川教育委員：**そこの部分が、やはりこれを流す前に、この教育委員会で議論すべきではなかったかというのも、あると思います。

しかし私は、低学年棟の議論もあるので、12月末というタイミングは、とても良かったと思っています。

それから、平林課長が、家庭教育懇談会での意見をすごく重要に考えてくれているというのはとてもうれしかった。

それから、再編準備委員会の皆さんは、結構熱い思いを持って取り組んでくれているので、そういう方にはこのタイミングで、郵送なりをしてあげたらよかったかなと思います。

**平林学校教育課長：**中山委員がおっしゃったように、この平面図を一般の皆さんに周知すると、またいろいろな意見が出て、何とかしてみたいな話になってしまうと困ってしまうという部分もありますので、情報の内容によって、周知方法を変えることも必要かなと。

**下川教育委員：**まずは当事者、幼稚園や保育園の皆さんも含めて、この学校を使う皆さん、通う皆さんに対しての情報発信をということで、だから一般には広くはやらなかったっていうご説明だということだと思うのですが。

もう1つは、これから決めることで、今後、現状も含めて、市長部局との状況を、何か進展なり、展望があったら、教えていただきたいと思います。

**平林学校教育課長：**現段階におけます南部小学校の計画等についての状況ですが、総合教育会議では、具体的な部分に関して協議ができませんでした。

現在の計画は、当初どおり、令和8年度から改修工事を実施するというを基本に、様々な効率的な手法等を検討している状況となっています。

ただ、理事者査定場で申し上げたのですが、基本は令和8年度とするが、南小学校を使っている学校の意見を聞いて、どうしてもその開校時課題となる部分があれば、前倒しについて検討し、お願いする場合がありますということを、口頭ですが申し上げたところです。

**中村教育長**：他にはよろしいでしょうか。

**森教育委員**：通学区のことをお聞きしたい。

今までの事例で、学区外の学校に行くことを認めている条件にはどのようなものがあるのでしょうか。

**中村教育長**：基本的には通学区ですが、それぞれの個々のケースによって、特にあるのは、例えば中学2年生の段階で転居し通学区が違うという形になった場合に、中学校生活も1年しかないということで、新しい学校に行って新しい友達と生活するよりは、そこにいて、その子はより充実した学校生活を送れるという場合には、学区外から通学するというのを認めています。

あとは、いじめとか不登校の場合には、それぞれ個々のケースによって配慮してということが、今までも事例がありました。

**森教育委員**：学区外への通学の希望を出せば通るという誤解をする保護者がいるように聞いておりますが。

**中村教育長**：社の家庭教育懇談会で、そのように考えている保護者がいると話があったものですから、今回こういう形で、お知らせしたということになります。

**下川教育員**：再編ニュースの、この※1の部分で、入り組んでいるということで私自身、本当に再認識しました。

神栄町というのは、隣の子はバスで行けるのに、隣の子は歩きたいな状況が発生して、それはもう再編準備委員会の中で意見が出ていて、今後どうするのか決めていくことになるのだらうと思います。

**中村教育長**：通学方法については、保護者の方の重大な関心ごとの1つで、それは重要な検討事項であると感じています。

よろしいでしょうか。

それでは、プールの整備方針について、事務局説明願います。

**平林学校教育課長**：プールの整備方針について資料により説明

**中村教育長**：ご意見等ございましたら、お願いいたします。

**森教育委員：**大町スイミングスクールの施設も、いずれ改修工事が必要なときが来るのかなと思うのですが、改修工事期間中、水泳の授業の確保はどのようにするのでしょうか。

**平林学校教育課長：**その部分までを含めて、今回、準備はしておりません。

スイミングスクールの方へ改修の予定について、事前に事情聴取を行ったところ、現時点では、改修の予定は無いとのことでしたが、いずれは、そういうケースの必要性もあるかと考えております。

もし整備が必要となった場合の事務局としての考えですが、方針の中でうたっておりますが、既存のプールについては、きちっと補修をしながら、今後も使っていきますとなっておりますので、民間施設の改修時には他の学校へ移動して水泳授業を行っていくのも1つの手かなと思っております。

**下川教育委員：**北部小学校の、(1)の③にライフサイクル費用というものが記載されていますが、これは維持管理とは別に、かかる費用を見込んでいるということでしょうか。

**平林学校教育課長：**これは、施設の耐用年数を30年として、建設費と水道代とかの維持管理から積算しておりますが、今回修繕費は見込まずにこのライフサイクル費用を計上しました。

**下川教育委員：**これは実際に毎年お金が出ていく金額ということですか。

**平林学校教育課長：**そういうことになります。

**下川教育委員：**もう1つは、民間を使った場合の利用回数について、北小の利用実績を基に算出しているということか。

**平林学校教育課長：**北小学校の実績の値を使って算出しております。

**下川教育委員：**民間施設の受け入れ可能数は、45名が最大ということでしょうか。

**平林学校教育課長：**確認したところ、50名程度ということでした。

**平林学校教育課長：**最後に補足ですが、これで今後、市長に説明をし、最終的には3月の市議会へ説明をいたします。

その中で、基本的には最終的な部分は変わることはありませんが、資料等の修正はあるということでご理解をお願いします。

**下川教育委員：**北部小学校のプールに関して、プール整備は行わないこととされているが、民間施設を活用するという記載がない。今後、市長部局との協議や議会への報告の際、それも含めた方針を話していったほうがよいと思う。

**太田教育次長：**明記した方がよいかと思しますので、検討します。

**中山教育長職務代理者：**資料は、「学校プールのあり方について」と「大町北部小学校プールの整備方針について」の2種類あったほうがよいのか。一つにまとめることはできないのか。

**平林学校教育課長：**「学校プール施設のあり方について」は、大町市全体としての学校プールの方針を示したものであり、それを受けて個別の学校のプールに関して検討したものとなっているため、ふたつに分けさせていただいた。

**太田教育次長：**上手く一つにまとめられるか検討したい。

**中村教育長：**それでは事務局の方でも、検討するというので、お願いします。

では次に令和5年度大町市児童生徒体力・運動能力調査結果について、事務局説明をお願いします。

**吉澤学校教育指導主事：**令和5年度大町市児童生徒体力・運動能力調査結果について、資料により説明

**中村教育長：**体力・運動能力調査結果について、何かございますか。

**下川教育委員：**昨日も子ども教室の様子を見ると、身体を動かすことは好きなんだなという印象が強かった。

土日の運動量がというのは家族との生活になるので、家族の方でどういう形で生活しているかにもよるのかなと思う。

**森教育委員：**調査結果は平均値ですが、どこに偏っているのかがわかる分布図のようなものはないのでしょうか。

**中村教育長：**分布図は無いですが、後半の方に学年ごとの結果が出ていますので、これを見ると、その学年の特徴というのは、とてもわかると思います。

また、平均値で見ると、学年で全くそれが違ってきている状況もあったりして、これはこういう、要因なのかはよくわかりませんが。

他にはいかがでしょうか。

**中山教育長職務代理者：**市内のある小学校の低学年の授業を見たときに、45分の授業中で、本当に椅子に座ってられない子がいて、腹筋背筋が足りないっていうこともあるのか、同じ姿勢を保てないのかなっていうようなことも感じたこともありました。

授業のほかに、各小学校でやっているようなマラソンとか、そういうものを取り組む必要があると感じました。

**中村教育長：**各学校ではこの体力測定の結果を個人に返して、それから自分でどんなところを、これから気をつけたらよいかというようなことを授業で、話し合っていたと思っています。

**北澤教育委員：**子どもたちは何を運動ととらえているのでしょうか。

例えばボールを使ったり、走ったりしなければ運動ではなく、犬の散歩をしたのは運動に入らないというように子供たちが思って、そういうように記入している場合もあるのかなっていう気がするのですけど。

**中村教育長：**質問の内容について、どのように聞かれているかまだ確認していないので、その辺を確認してみたいと思います。

**北澤教育委員：**美麻小中は、元気アップを取り入れて週に何回か運動をしているようですし、他の学校もマラソンなど学校独自の運動をしていると聞いています。

**中村教育長：**自分が承知しているだけで、美麻の元気アップは、ずっとやっていますし、東小の方では毎朝、子供たちが考え、朝ランニングをしようということで、取り組みをしているようです。

**北澤教育委員：**なかなか今、子供同士で、鬼ごっこをして遊ぶとか、そういう機会がもうほとんど皆無に近いので、学校でそういう部分を補うように、そういう楽しい活動として取り入れていただければいいのかなと思います。

**下川教育委員：**東小は、マラソンが苦手な子は大縄跳びをすとか、先生は大変なのかもしれないけれど、幾つか選択肢とかメニューをそろえて、やりたいことをやれる環境ができればいいなと思います。

中村教育長：それでは連絡事項ということで、事務局お願いします。

平林庶務係長：当面する日程及び今後の教育委員会等の日程について、資料により説明

中村教育長：以上をもちまして、第1回教育委員会を終わりにしたいと思います。  
ありがとうございます。

《午前11時41分 終了》